

尾瀬戸倉温泉 ホテル玉城屋

Oze Tokura Onsen Hotek Tamakiya
(群馬県片品村)



片品村と言えば、尾瀬観光、登山、スキー、温泉など、自然を満喫できる観光地として有名だ。今回紹介する風呂は、ホテル玉城屋の風呂だ。ホテル玉城屋は、尾瀬の玄関口である戸倉で、最もバスターミナルに近い場所にある便利な温泉宿である。筋向いには、同じ屋号の酒屋もあるので、地酒を調達するにも便利である。地酒としては水芭蕉、谷川岳が有名だ。

玉城屋の玄関、フロントは2階にあり、温泉は1階にある。脱衣室には脱いだ物を入れる籠が27個あるが、ロッカーはない。貴重品は客室に置いてくるが、フロントに預けた方が良いであろう。

浴室はシンプルだ。洗い場が7か所あって、内湯の浴槽があるのみだ。洗い場にはシャンプー、ボディソープ、コンディショナーが具備されている。浴槽は定員20人くらいで、湯温はややぬるめだ。この湯は、触った瞬間にわかるほどにヌルヌルしている。pHが10.1のアルカリ性単純温泉。神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、打ち身、くじき、慢性消化器病、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。浴槽には白い湯の花が舞っている。

ところで、玉城屋では尾瀬観光のために、昼食用のおにぎりを用意してくれるサービスがある。これを利用しない手はない。朝食は最も早い時間で6:00に設定できるが、朝食を食べてから出発するより、朝食もおにぎりにしてもらいたいことをお勧めしたい。つまり、2食分のおにぎりを朝6:00に準備してもらい、空いている時間帯を狙って尾瀬観光に出発する。おにぎりは1個が昆布味、もう1個が梅干し味。朝食用のおにぎりには焼き魚、ウィンナー、切り干し大根がつく。昼食用のおにぎりにはたくあんと魚肉ソーセージがつく。ありがたいサービスである。



この時期、尾瀬ではほとんど何の花にも巡り合えなかった。代わりに出会えたのは強烈な暴風雨。下界では気温 38~40℃という酷暑だったが、尾瀬ヶ原は気温 17~18℃。自然は厳しい。

自然が厳しいがゆえに、人はそれに魅了される。そして、そこには温泉が存在する。自然は優しいということでもある。

DATA

名称	尾瀬戸倉温泉 ホテル玉城屋
所在地	群馬県利根郡片品村大字戸倉 604
電話	0278-58-7211
営業時間	要確認 (チェックイン~チェックアウト (夜間を除く))
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	スノーパーク尾瀬戸倉